380074-A　この説明書をよく読んでから使用してください。

2009年9月作成（第1版）

Loopamp®
LAMP（Loop-mediated Isothermal Amplification）法

Loopamp®インフルエンザウイルス用抽出試薬

【特徴】

本製品は、咽頭拭い液又は鼻腔拭い液に含まれるインフルエンザウイルスから核酸（RNA）を迅速・簡便に抽出する試薬です。本製品で処理したサンプル溶液は、LAMP法を原理とするインフルエンザウイルス検査に使用します。

【内容】

48テスト分

抽出試薬 ……4 mL × 48

【使用方法】

1．必要な器具・器材・試薬（本製品には含まれていませんので別途用意してください）

弊社推奨のスワブ※（鼻腔用又は咽頭用）

※ Eiken GENOME SITE（URL；http://loopamp.eiken.co.jp/）を参照してください。

2．操作法

1）検体を採取したスワブを輸送容器に入れ、本製品を使用する部屋に移動します。

2）検体を拭ったスワブを本製品の液中に入れ10回ほど撹拌し、サンプル溶液とします。

【使用上又は取扱い上の注意】

1．取扱い上（危険防止）の注意

1）検体は感染の恐れがあるものとして取り扱ってください。

2）本製品には、保存剤として微量のアジ化ナトリウムが含まれています。アジ化ナトリウムには毒性があるので、目や口に入らないよう、また皮膚に付着させないよう注意してください。万一皮膚等に付着した場合には、直ちに水で十分に洗い流してください。

2．使用上の注意

1）本製品は、RNA増幅試薬（乾燥剤型）とH1 pdm 2009プライマーセット（乾燥剤型用）又はFluAプライマーセット（乾燥剤型用）を組み合わせたインフルエンザウイルス検査に至適化されています。LAMP法を原理とする一部のインフルエンザウイルス検査試薬には使用できない場合があります。

2）血液を多く含む検体は、測定結果に影響を及ぼす場合があります

3）検体採取の際に発生するエアロゾルによって、鋳型RNAが検査環境中に飛散しコンタミネーションが発生する場合があります。そのため、スワブによる検体採取は本製品を使用する部屋とは別の部屋で実施してください。

4）RNA 分解酵素（RNase）の混入を避けてください。RNA は RNase により容易に分解されます。RNase は材料である検体や組織等、実験器具、試薬、水、さらには実験者自身の唾液や汗からも混入する恐れがあります。
5）本製品により処理したサンプルは直ちに使用してください。やむを得ず保存する場合は、4℃で保存し、72 時間以内に使用してください。
6）本製品は、指定の貯蔵方法で保存してください。
7）使用期限を過ぎた試薬は使用しないでください。

３．廃棄上の注意

1）検体及びそれらが接触したスワブ、容器は感染性のあるものとして、各施設のバイオハザード取扱規程を遵守して取り扱ってください。
2）本製品の試薬残液、使用後の廃液は、各施設のバイオハザード取扱規定を遵守して廃棄してください。
3）試薬チューブは高密度ポリエチレン（HDPE）及びポリプロピレン（PP）、ケースは紙を主な材質としています。
4）使用後の試薬や容器及び器具類は、医療廃棄物等に関する規定及び、水質汚濁防止法等の各種規制に従い、各施設の責任において処理してください。

【包装単位・貯蔵方法・有効期間・製品コード】

製　品　名	包装単位	貯蔵方法	有効期間	製品コード
Loopamp®インフルエンザウイルス用抽出試薬	48テスト分	室温保存	6ヵ月間	LMP801

【問い合わせ先】

栄研化学株式会社　お客様相談窓口
フリーダイヤル 0120−308−421

製造販売元　栄研化学株式会社
栃木県下都賀郡野木町野木143番地